

Citation: Sheikh A, Hurwitz B, Nurmatov U, van Schayck CP. House dust mite avoidance measures for perennial allergic rhinitis. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2010, Issue 7. Art. No.: CD001563. DOI: 10.1002/14651858.CD001563.pub3.

CRG名: Cochrane Ear, Nose and Throat Disorders Group

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 30 December 2009

Clib issue No.; N/U: 2010 issue 7, Update

背景: これは、コクラン・ライブラリ2001年第4号で最初に発表され、2003年と2007年に更新されたCochrane Reviewの最新版である。

先進国では一般人口の約30%が1つ以上のアレルギー性疾患を有し、そのうちアレルギー性鼻炎が特に多いと推定されている。通年性鼻炎は室内塵ダニに対するアレルギーに起因することが最も多い。このような患者において室内塵ダニ回避は論理的であるが、室内塵ダニ曝露を減じるようデザインされた介入の研究環境および実地環境での有効性に関してはかなり不確実である。

目的: 室内塵ダニ感受性アレルギー性鼻炎の管理における室内塵ダニ曝露を減じるようデザインされた方法の利益(と有害性)を評価する。

検索戦略: 検索対象はCochrane Ear, Nose and Throat Disorders Group Trials Register、Cochrane Central Register of Controlled Trial Register(CENTRAL)(コクラン・ライブラリ2009年第4号)、MEDLINE、EMBASEであった。最終検索日は2009年12月31日であった。

選択基準: 臨床医に診断されたアレルギー性鼻炎があり、塵ダニに対するアレルギーと確認された患者を対象として、室内塵ダニ制御方法がプラセボまたは他の塵ダニ回避方法との比較で評価されたランダム化比較試験(RCT)で、盲検化の有無を問わなかった。

データ収集と分析: 2人のレビューアが独自にタイトルと抄録を選別し、Cochraneアプローチを用いて方法論的質を段階評価し、データを抽出した。対象となった患者グループの異質性のためにメタアナリシスは不可能であったが適切でなかった。

主な結果: 501例の参加者を対象に含んだ9件の試験が選択基準を満たした。質が良好であったのは、ダニ不透過性寝具カバーの有効性を検討した2件の研究のみであった;残りの7件の研究は小規模で質が不良であった。2件の試験はダニ駆除薬の有効性を検討し、別の2件は高性能微粒子(HEPA)フィルターの役割を検討した。1件の試験は、要因デザインを用い、ダニ駆除薬と室内塵ダニ不透過性寝具カバーの有効性を単独と併用で検討した;残りの4件の試験は、室内塵ダニ不透過性寝具カバー使用を含む寝室環境制御プログラムの有効性を検討した。9件中7件の試験は、コントロールと比較して検討した介入は室内塵ダニ量の有意な減少を引き起こしたことを報告した。現在までに検討された介入のうち、ダニ駆除薬は最も有望なタイプの介入であると思われる。しかし、これらの研究は方法論的な限界のため、その知見を注意して解釈する必要がある。単独介入としての室内塵ダニ不透過性寝具では臨床的利益を提供する可能性は低い。いずれの介入からも重篤な有害作用は報告されなかった。

レビューアの結論: 現在までの試験は概して小規模で方法論的質が不良であり、そのため、室内塵ダニ感受性アレルギー性通年性鼻炎の管理における室内塵ダニ回避方法の役割(あるとしたら)に関して決定的な勧告を提供することは困難である。これらの研究の結果は、ダニ駆除薬と大規模な寝室ベース環境制御プログラムの使用は鼻炎症状の軽減にいくらか有益性を有する可能性があり、適切と考えられる場合、これらを選択介入とすべきであることを示唆している。室内塵ダニ不透過性寝具の単独使用の効果を示すのは難しいようである。

(監訳 内藤 徹)

翻訳公開日: 2011年3月1日

ご注意:この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がありましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年4回改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。